

SEO対策のノウハウ

【SEOの基本事項】

- ・ タイトルは24文字以内が良い
- ・ タイトルのスペースは空けない
(例) ×東京 マッサージ屋 ○東京マッサージ屋
- ・ h1はページにひとつのみ使用
- ・ h1とpはセット利用
(例) <h1>h1 タイトル</h1>
<p>説明文</p>
- ・ タイトルとh1は別の内容にする
- ・ h1 > h2 > h3 > h4 の順で評価されるので、特にh1には重要キーワードを必ず入れる
- ・ ディスクリプションはヘッダー内に書いて、文字数は120文字以内
<meta name="description" content="50文字以内に主要キーワードを入れる">
(スマホは50文字のみ表示される)
- ・ キーワードは1つの文章に3回以上使うと評価が下がる
- ・ 画像はaltにキーワードを入れる
(例)
- ・ 画像は1ページに3枚以上入れると良い
- ・ 画像の下にはその画像の説明文を入れるべし
- ・ 改行
は使わないほうが良い
- ・ 2ちゃんねるでWebサイトを紹介すると良い
- ・ 404エラー、検索ウィジェットを設置すると良い

【内部対策で重要なこと】

- ①キーワードが適切に選定されているか
- ②コンテンツの質の高いか（特に文字数）
- ③更新頻度の高さ
- ④内部リンクはきちんと組み込まれているか
- ⑤サイト運営歴は長い

①キーワードは9つが最も良く、重要なキーワードから順に書いていくのがベストです。キーワード選定の仕方として、Googleキーワードプランナーを利用することをオススメします。

Googleキーワードプランナーの検索ボリューム取得で、選定したいキーワードの検索ボリュームを調べる。

ここで重要なのが、検索ボリュームを調べて、検索ボリュームが多くて、競合が少ないキーワードを選定しましょう。

（例）

検索ボリューム少ない&競合多い×

検索ボリューム多い&競合多い△

検索ボリューム多い&競合少ない○

②コンテンツの質において、文字数はとても重要です。

検索順位を決めるロボットはHTMLの文字しか読めないなので、画像の文字はSEOに関係ないです。

文字数はタイトルが24文字以内、ディスクリプションは120文字以内にしましょう。

③Webサイトの更新頻度も見られます。

最低でも月に1回は更新すべきです。

④リンク先が途切れたりすると、ページの質が悪いと判断されて、評価がさがるので、リンク先にきちんと飛べるようにすべきです。

⑤サイトの運営歴も評価の対象になるので、当然Web上に長くアップしているサイトの方が評価は高いです。

【外部対策で重要なこと】

被リンクはきちんとしたリンクが貼られているか

（被リンクはトップページだけでなく、きちんといろんなページに分散されているか）、リンクの供給頻度は多いか、

アンカーテキストは分散されているかが見られるので、そこを注意して外部対策を行えば、評価は上がります。

【クローラーが見ていること】

Googleのクローラーが重点的に確認する部分は、

- ①サイトの情報が読者にわかりやすく書かれてあるか
- ②どれくらいの頻度でWebサイトが読者に見られているか
- ③無効なリンクはないか

を見ていて、

どのサイトをクロールして判断するのか、

どのくらいの頻度でどのページの情報を収集するか

は、Googleのコンピュータのプログラムが自動的に決めています。

コツとして、読者のWeb滞在時間が多くなるように、

離脱しにくい、読みたくなるようなデザインや文章を書くべきなのと、

多くの人に見てもらえるように、SNSなど様々な媒体で告知すべきです。

【SEO便利ツール】

- ・ワードプレス、SEO関連のプラグイン

All in one SEOパックを導入し、Webサイトと結びつけて、設定で同じキーワードと同じディスクリプションを登録する

- ・グーグルウェブマスターツール

WebサイトのSEOにおける問題点や改善点を発見できる便利なツール

【SNSについて補足】

SNSのハッシュタグのベストな個数は、

ツイッター# 1個

フェイスブック# 1個> 2個> 10個

インスタグラム# 9個

眩くベストな時間帯は、11時~12時と、20~21時

SEO対策のノウハウについて、必要な部分のみをまとめました。
これをきちんと行えば、SEO評価は確実に、日に日に上がっていきます。